

「2014年 情報セキュリティインシデントに関する調査報告書～個人情報漏えい編」

「2015年 情報セキュリティインシデントに関する調査報告書【速報版】」

公開のお知らせ

特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会（会長：田中英彦、本部；東京都港区、以下、JNSA）は、6月17日（金）の午後に以下2件の報告書をWebサイト上で公開すると共に、同日に開催する「2015年度活動報告会」（ベルサール神田）の中で本報告書に関する詳細の解説を行います。

- ・「2014年 情報セキュリティインシデントに関する調査報告書～個人情報漏えい編」
- ・「2015年 情報セキュリティインシデントに関する調査報告書【速報版】」

■2015年度活動報告会

- ・日時：2016年6月17日（金） 10時～15時40分
- ・場所：ベルサール神田（千代田区神田美土代町7住友不動産神田ビル）
- ・URL：<http://www.jnsa.org/seminar/2016/0617/>

※セキュリティ被害調査WGの発表は10：50-11：20（30分）です。

■調査背景

JNSA セキュリティ被害調査ワーキンググループによる個人情報漏えい事件・事故の調査分析は2002年より行っており、近年は情報セキュリティ大学院大学原田研究室、廣松研究室の協力をいただいて実施しています。本調査もこれまでの調査方法を踏襲し、2014年に新聞やインターネットニュースなどで報道された個人情報漏えいインシデント（以下、インシデントという）の情報を集計し、分析を行いました。

この調査データにもとづき、漏えいした組織の業種、漏えい人数、漏えい原因、漏えい経路などの情報の分類、JOモデル（JNSA Damage Operation Model for Individual Information Leak）を用いた想定損害賠償額などを分析した結果を報告書にまとめています。インシデントの原因分析も含め、2014年のインシデントの集計・分析結果、及び過去10年間の蓄積されたデータを元にした経年変化の分析結果を報告しています。

本報告書の調査データや想定損害賠償額は広く活用されており、昨年度はWGの作業が遅延し報告書の公開ができなかったため、約2年ぶりの最新データの公開となります。

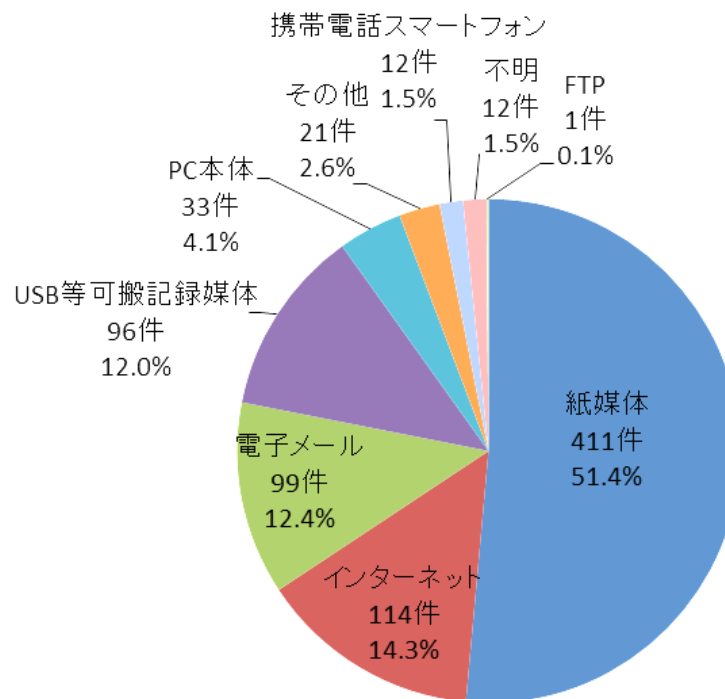
■2015年の個人情報漏えいインシデントの分析結果（速報版より）

2015年の集計結果は、以下の通りです。

◆ 2015年 個人情報漏えいインシデント 概要データ（速報版 表1より）

漏えい人数	496万0063人
インシデント件数	799件
想定損害賠償総額	2541億3663万円
一件あたりの漏えい人数	6578人
一件あたり平均想定損害賠償額	3億3705万円
一人あたり平均想定損害賠償額	2万8020円

◆ 2015年漏えい媒体・経路別の漏えい件数（速報版 図4より）



なお、17日の活動報告会では、近日中に報告書発表予定の市場調査WGによる発表やIoTセキュリティWGによるパネルディスカッションもごさいます。ご興味ありましたらぜひあわせて御参加下さいますようお願い致します。

<本件に関するお問い合わせ先>
 特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）
 URL : <http://www.jnsa.org/> E-mail : sec@jnsa.org
 Tel : 03-3519-6440